

第102回箱根駅伝11位
(3区ランナー)

さかもと しゅん
坂本 駿 (22)

潮来市出身
牛堀小学校・牛堀中学校
鹿島学園高校 卒業
中央学院大学4年生
陸上歴:7年



陸上をはじめたきっかけは

「小・中学校ではサッカー一部。陸上一筋だったわけではありませんが、小学生の頃、長距離大会の練習で父と一緒に走ったり、中学で駅伝に出場する機会がありました。本格的にはじめてのは高校生になってからです。」

兄が陸上をやっていたことをきっかけに陸上部のある鹿島学園に進学しました。長距離をメインに日々練習に励んでいます。」

箱根駅伝、リベンジの3区

「3年生の時は箱根駅伝で7区を走り、あと一步でシード権を逃す悔しさを経験しました。そして迎えた今年、1週間前に3区での出場と聞いて緊張しました。2区はエース区間。その流れを壊さないように走ろうと思いましたが、区間は違えど、胸にあっただのは、リベンジ。結果は11位、惜しくもシード権は逃しましたが、中央学院大学記録タイを記録する快走を見せました。」

スタート前に自分へかける言葉

「自分は強い。って思いこませます。中学の時に顧問の先生から教わって、自分に合っているのだから続けています。」

日頃から大切にしているのは

「継続。毎日必ずジョギングをしています。潮来の常陸利根川沿いも走っています。何事も継続が力になると信じています。」

「続けること」その積み重ねが、箱根の舞台へとつながりました。」

夢は、日本を代表するランナーへ

「今後は実業団入りが決定。『まずニューイヤーマラソン出場に貢献すること。そして将来は、日本を代表するランナーになることが目標です。』」

市民の皆さんへ

「これまで応援してくださった地域の皆さん、学校関係の方々、支えてくれた家族に本当に感謝しています。継続する力があれば、夢はかなえられると信じて頑張っています。」

潮来のまちを走り続けた選手が箱根駅伝の夢を叶え、日本のトップランナーを目指して今日も頑張っています。みなで応援し続けましょう。」



第104回全国高等学校 サッカー選手権 準優勝

さかいつかさ
酒井 束颯 (18)

潮来市出身

日の出小学校・

日の出中学校卒業

鹿島学園高校3年生

ポジション:FW

サッカー歴:約10年



SOCCKER

プロサッカー選手への憧れ

「小学校4年生の時、サッカーでスペインのバルセロナキャンプに参加する機会があり、本物のリオネル・メッシ選手を見ました。映像では見たことがあつたけど、生で見るのは、はじめてで自分とは何もかもが全く違って感動しました。それを機にプロのサッカー選手になりたいと思いました。日本に帰ってきてからメッシ選手と同様、左足を磨きました。」

日の出SSSでの思い出

「前川グラウンドの芝生広場でサッカーをしたのは本当に良い思い出です。当時、芝生でプレーできたのはすごく嬉しかったです。当時は、砂のグラウンドばかりだったので、嬉しかったです。監督やコーチには感謝の気持ちでいっぱいです。」

日頃心がけていること

「『自分の武器を伸ばせ』と言われたことが心に残っています。自分はテクニックやドリブルに自信のある方ではなく、ハードワーク・運動量や守備に力を入れて練習をしていました。」

全国大会に出場して

「1年時県予選で準決勝負け、2年時県予選決勝で負け、3年時今年こそは全国に行くと思っていて取り組んできました。初戦は本当に嬉しかったです。」



市民の方へメッセージ

「応援ありがとうございました。全国大会で結果が出せたのは皆さまの応援のおかげです。優勝はできなかったものの準優勝の結果で終われたこと、皆さまへ恩返しができホッとしています。本当に応援いただきありがとうございます。」

将来の夢は

「サッカー関係の仕事につきたいと思っています。今度は選手を支えられるような仕事につきたいです。」

地元出身の選手が活躍する姿を見るたびにただただ嬉しい気持ちになります。今後のさらなるご活躍を応援しています。」